

2013年度事業計画

公1事業：音楽に関する学習機会を提供する事業

No. 1 「社会人のための音楽通信教育」

1948年（昭和23年）東京音楽学校同窓会が母体となり、文部科学省認定音楽分野唯一の「社会人のための音楽通信教育」を実施してから50年に及び実施しており、今後も継続して民間音楽教育の普及・向上の推進を図る。2012年度より、時代に応じたテキストの改訂に取り組み、2013年度より「たのしい作曲法」から順次テキストを改訂し、時代のニーズに合ったテキスト作成に取り組む。

尚、新テキストが文科省生涯学習局一般社会人通信教育の申請が認可となりましたときは、新たな理事での担当とする予定です。

【新規】

No. 2 「楽譜検定」

楽譜とは、作曲者がプレイヤーに演奏情報を伝えるための設計図、あるいは後世に作品を残すための重要な手段の一つである。作曲者の意図を正しく伝えるためには、より正確で美しい楽譜であることが大事だが、そのためには伝統的な楽譜表記の「ルール」を知っていることがまず必要不可欠である。本検定は「楽譜に関する知識」について一定の指針を示し、その習熟度によってグレード（級）を付与することで、楽譜について学びたい方々の意欲向上、ひいては音楽文化の継承発展を牽引する人材の育成を目指す。

①ホームページおよび試験システムの制作と運営

本検定の入口となるホームページ、および試験システムを構築。楽譜を学ぶことの意義を啓蒙し、受験を促します。試験方式はインターネット・オンライン上で実施するものとし、24時間、365日、何時でも何処でも、学び、試験を受けられる体制を整え、設問の作成、継続的な更新作業、受験者情報の管理を含む、検定実施に係る一切の運営を行う。

②楽譜検定のグレードについて

開始当初は10級から2級までのグレードを設置します。10～8級は初学者向け、7～5級は中級者向け、4～2級は高等知識を問う内容とし、将来的には作品審査を伴う1級やそれ以上のグレードの設置も検討する。

③受験料について

本検定の受験は有料とする。ただし、学校等の教育現場でも気軽に活用できるよう10～8級は無料とする。7～5級が500円、4級＝1000円、3級＝1500円、2級＝2000円の受験料を設ける。

④合格基準

およそ8割の正答により合格と判定し、オンライン上で認定証を発行。

⑤楽譜を学ぶための支援活動

音楽や楽譜を学ぶ際に有用な参考テキストや教育機関を紹介するなど、視野の広い情報提供を行います。

⑥プロモーション活動

各種音楽イベントにおいて、リーフレットの配布などのプロモーション活動を行う。

※上記No. 2は、後日、変更認定申請を行う予定であり、認定がなされた場合、事業No. 2が行われるものとする。

公2事業：音楽に関する発表機会を提供する事業

No. 3 「日本管打楽器コンクール事業」

このコンクールは、公益財団法人日本音楽教育文化振興会が主催する事業の一つで、生涯学習を通じての個人並びに社会に役立つ視野に立ち、管楽器及び打楽器12の各分野から有能なソリストの発掘、優秀な人材の育成、及びこのジャンルの啓発を目的とする。本年度より、各部門の1位受賞者に、文部科学大臣賞、都知事賞を授与、大賞演奏会に内閣総理大臣賞を授与する。

「2013第30回日本管打楽器コンクール」

実施楽器・クラリネット部門・ファゴット部門・トランペット部門・テューバ部門

○クラリネット部門 会場：国立音楽大学（東京都立川市柏町5-5-1）

（第一次予選・第二次予選：新一号館スタジオ／

本選・フェスティバル：講堂小ホール）

第一次予選 2013年8月20日（火）～22日（木） 10:00～

第二次予選 2013年8月23日（金） 10:00～

本選 2013年8月24日（土） 13:00～

フェスティバル2013年8月24日（土） 16:00～

○ファゴット部門 会場：洗足学園音楽大学（神奈川県川崎市高津区久本2-3-1）

（第一次予選・第二次予選：本講堂／本選・フェスティバル：洗足学園前田ホール）

第一次予選 2013年8月19日（月）・20日（火） 10:00～

第二次予選 2013年8月22日（木） 10:00～

本選 2013年8月24日（土） 13:00～

フェスティバル2013年8月24日（土） 16:00～

○トランペット部門 会場：東京音楽大学（東京都豊島区南池袋3-4-5）

(第一次予選・第二次予選・本選・フェスティバル：100周年記念ホール)

第一次予選 2013年8月19日(月)～21日(水) 10:00～

第二次予選 2013年8月22日(木) 10:00～

本選 2013年8月24日(土) 13:00～

フェスティバル2013年8月24日(土) 16:00～

○チューバ部門 会場：昭和音楽大学(南校舎：神奈川県川崎市麻生区上麻生1-11-1)

(第一次予選・第二次予選：汎用スタジオ／本選・フェスティバル：ユリホール)

第一次予選 2013年8月19日(月)・20日(火) 10:00～

第二次予選 2013年8月22日(木) 10:00～

本選 2013年8月24日(土) 13:00～

フェスティバル2013年8月24日(土) 16:00～

○表彰式と特別大賞演奏会

日時 2013年8月30日(金) 17:00～

会場 文京シビック大ホール(東京都文京区春日1-16-21)

指揮・共演 曾我 大介 / 東京ニューシティ管弦楽団

□後援

内閣府、外務省、文部科学省、アメリカ合衆国大使館、ドイツ連邦共和国大使館、イタリア大使館、中華人民共和国駐日本国大使館文化部、駐日韓国大使館 韓国文化院、タイ王国大使館、東京都、豊島区、豊島区教育委員会、文京区、文京区教育委員会、立川市、立川市教育委員会、川崎市、川崎市教育委員会、「音楽のまち・かわさき」推進協議会、朝日新聞社、公益社団法人日本演奏連盟、公益社団法人日本オーケストラ連盟、一般社団法人日本音楽著作権協会、社団法人全日本吹奏楽連盟、東京都吹奏楽連盟、神奈川県吹奏楽連盟(順不同)

□特別協力大学

国立音楽大学、洗足学園音楽大学、東京音楽大学、昭和音楽大学(順不同)

□協力

一般社団法人日本クラリネット協会、日本ファゴット(バスーン)協会、日本トランペット協会、日本ユーフォニアム・チューバ協会(順不同)

□協賛企業

株式会社図書出版、東京都民銀行春日町支店、株式会社エムアイセブンジャパン、ヤマハ株式会社、野中貿易株式会社、株式会社グローバル、株式会社ドルチェ楽器、株式会社ビュッフェ・グループ・ジャパン、株式会社セントラル楽器、日本ダブルリード株式会社、株式会社石森楽器、ブレーン株式会社、株式会社JTB 関東、株式会社フオトライフ、他(順不同)

□協賛大学・団体

(日本)京都市立芸術大学、愛知県立芸術大学、沖縄県立芸術大学、武蔵野音楽大学、

桐朋学園大学音楽学部、東邦音楽大学、上野学園大学、尚美学園大学、日本大学藝術学部音楽学科、札幌大谷大学芸術学部音楽学科、名古屋芸術大学、名古屋音楽大学、相愛大学音楽学部、エリザベト音楽大学、くらしき作陽大学、平成音楽大学（順不同）

（中国）中央音楽学院、瀋陽音楽学院、陝西師範大学音楽学院、広州音楽学院、南昌大学藝術学院、大連大学音楽学院、西安音楽学院、四川音楽学院、中国管楽器学会、中国トランペット協会（順不同）

（韓国）延世大学校 音楽大学、梨花女子大学校 音楽大学、慶熙大学校 音楽大学、檀国大学校 音楽大学、國民大學校 音楽大學、又石大学校 音楽大学（順不同）

協賛専門学校

尚美ミュージックカレッジ専門学校

協賛専門校

国立音楽院

No. 4 「日本管楽合奏コンテスト事業」

管打楽器および吹奏楽に関する研究・調査・啓発を行なうとともに音楽文化の向上を図り、学校教育、生涯学習における我国の管打楽器および吹奏楽の充実・発展に寄与することを目的とする。その一環として「日本管楽合奏コンテスト」を開催する。

①独自のサウンド」を求める。

②管打楽器合奏、アンサンブル、吹奏楽、同属楽器アンサンブル（クワイアー等）、声楽、電子楽器、弦楽器との多様な編成について考える。

③時代様式、演奏様式、個人様式などの追求・研究を行う。

④全国大会においては、視覚的演出表現等の研究を行う。

「2013（第19回）日本管楽合奏コンテスト」

予選審査会 2013年09月28日（土）・29日（日）・30日（月）（非公開）

全国大会 2013年11月02日（土）・03日（日）・04日（月）・09日（土）・10日（日）

会場 文京シビック大ホール

共催

公益財団法人文京アカデミー、一般社団法人日本管打・吹奏楽学会

後援

文部科学省、東京都、文京区教育委員会、社団法人全日本吹奏楽連盟

協賛（予定）

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社、アサヒカルピスビバレッジ株式会社 株式会社こおろぎ社、株式会社鴻池組、株式会社ダク、株式会社ハッスルコピー、株式会社友ミュージック、株式会社フォトライフ、株式会社ベネッセコーポレーション、国立音楽院、尚美ミュージックカレッジ専門学校、ブレーン株式会社、ヤマハミュージック

クトレーディング株式会社、ヤマハ株式会社、ローランド株式会社 他

No. 5 「日本ジュニア管打楽器コンクール」

全国小学校・中学校・高等学校の教育現場における管打楽器教育のあり方と、管打楽器愛好者の優秀な人材の発掘や育成及び、啓発と普及を目的とする。文部科学大臣賞授与。

「第16回日本ジュニア管打楽器コンクール」

開催部門／小学生コース／中学生コース／高校生コース

実施楽器／フルート・クラリネット・オーボエ・ファゴット・サクソフーン・トランペット・トロンボーン・ホルン・ユーフォニアム・テューバ・パーカッション・マリンバ

演奏曲目／予選・本選考会とも規定分数以内の任意の楽曲とする。

演奏時間／小・中学生コース 5分以内。高校生コース 6分以内。

受付開始／2014年1月13日（月）～2013年2月7日（金）

予選考会／2014年2月15日（土）、16日（日）＜非公開＞

本選考会／2014年3月24日（月）～ 28日（金）

会 場／尚美ミュージックカレッジ専門学校（バリオホール）

「第16回日本ジュニア管打楽器コンクール」入賞者記念演奏会

本選考会で入賞した全コース・ソリスト部門とアンサンブル部門の中から選考し記念演奏会を開催。

日 時／2014年3月30日（日） 13時開演（予定）

会 場／文京シビック小ホール（東京都文京区春日1-16-21 Tel:03-3812-7111）

入 場 料／1,000円

□後 援（予定）

文部科学省、一般社団法人日本管打・吹奏楽学会、日本木琴協会、社団法人全日本吹奏楽連盟、東京都高等学校吹奏楽連盟、長野県吹奏楽連盟、北海道留萌地区吹奏楽連盟、福島県吹奏楽連盟、千葉県吹奏楽連盟、栃木県吹奏楽連盟、北海道旭川地区吹奏楽連盟、熊本県吹奏楽連盟、北海道札幌地区吹奏楽連盟、岩手県吹奏楽連盟、神奈川県吹奏楽連盟、大阪府吹奏楽連盟、埼玉県吹奏楽連盟、広島県吹奏楽連盟、茨城県吹奏楽連盟、北海道函館地区吹奏楽連盟、北海道帯広地区吹奏楽連盟、香川県吹奏楽連盟、和歌山県吹奏楽連盟、徳島県吹奏楽連盟、兵庫県吹奏楽連盟、京都府吹奏楽連盟、東京都中学校吹奏楽連盟、奈良県吹奏楽連盟、山梨県吹奏楽連盟、東京都小学校吹奏楽連盟 他

□協 力

日本フルート協会、日本クラリネット協会、日本オーボエ協会、日本ファゴット（バズーン）協会、日本サクソフーン協会、日本ホルン協会、日本トランペット協会、

日本トロンボーン協会、日本ユーフォニアム・テューバ協会、日本打楽器協会
□協賛（予定）

ヤマハ株式会社、ブレーン株式会社、株式会社フォトライフ、国立音楽院、あいおい
ニッセイ同和損害保険株式会社、株式会社ドルチェ楽器

【変更】

No. 6 「ポップス・ジャズコンテスト」

地域自治と音楽交流の場を確立するため生活の単位であるファミリー「家庭」と地域のコミュニティを生かすためネットとコミュニティ社会の誕生が求められる。そのため全国各地の地方自治体会場、全国音楽大学の会場、音楽業界、楽器業界、ユーストリーム配信、全国38FM局中のネット並びにメディア関連の協力のもと、地域の特性を生かした自由な機構での運営を行い、音楽分野でのトランポリン政策に通ずる何らかの機会を提供し、広く地域自治と文化交流の役割を果たすよう、事業を展開する次第です。

「第1回ポップス・ジャズコンテスト」

開催部門／小学校の部／中学校の部／高校の部／大学・専門の部／一般の部

※各部門ともに楽器やジャンルを問わない2名以上の編成。

参加編成の基準／・A編成：コンボ（2～10名による編成）

・B編成：ビックバンド（11～30名による編成）

・C編成：ブラスバンド（31～50名による編成）

※50名以上の場合は事務局に相談してください。

ジャンルスタイル／デキシージャズ、モダンジャズ、スウィングジャズ、フュージョン、
ボーカルジャズ、ラテン・ボサノバなど、独自のスタイル・パフォーマンスでの応募を求める。

※打ち込み等による音楽や伴奏は禁止する。

予選審査／5分以内の自由曲による映像審査（DVD）。

本選審査／予選に提出した自由曲含む、2曲（演奏時間出入込み12分以内）
による公開審査。

応募期間／2013年10月01日（月）～2013年11月25日（月）まで

予選審査料／無料（申込書・演奏DVD添付）

本選審査料／団体 30,000円（本選出場が決定した団体のみ）

予選審査日／2013年11月30日（土）、12月01日（日）《非公開》

審査発表／2013年12月02日（月）当サイトより発表 <http://www.jmecsps.or.jp/>

本選審査／2014年02月01日（土）・02月02日（日）

開 場：9：30 開演10：00（予定）

会 場：練馬文化センター 大ホール

参加者入場券：1名1,000円（プログラム含む）

一般入場券：1名2,000円（プログラム含む）

プログラム：1部500円

表彰：グランプリその他、各賞を用意。また、スポンサーより独自の観点からも贈呈予定。3部門に、第1位：5万円、第2位：3万円、第3位2万円（予定）

※各1団体のみ

※上記No. 6は、後日、変更届出を行う予定であり、変更がなされた場合、No. 6行われるものとする。

【新規】

No. 7 「WEB・サウンド・クリエイター・コンテスト」

作曲家の人材発掘を主眼としたコンクールやコンテストは、既に国内外に数多く存在しています。特に伝統的な西欧クラシック音楽の延長上にある現代音楽の分野においては、様々な格式の作曲コンクールが多数存在しています。しかし一方で、現代社会において一般大衆に対する娯楽音楽、つまり商業音楽、ポピュラー音楽や映画放送音楽や劇伴といった分野への進出を目指す作曲家の人材発掘を目指したコンクールやコンテストの類は、まだ歴史も浅く、数も多くはないといった状況です。

そこで私どもは、あるテーマ（課題）を設定して、それに沿った作品を募集して審査するという実際的な方法で、優れたクリエイターの資質を備えた人材を発掘するコンクールの企画化を目指すことにしたという訳です。今までに在るようで無かった…、こんなクリエイター発掘コンテストが欲しかった…、というコンクールを開催します。

「第1回WEB・サウンド・クリエイター・コンテスト」

課題：『クリエイターEXPO東京』テーマ音楽またはイメージ映像

作品内容について：オリジナル作品に限る

作品の提出形態：1) 音楽作品：DTMまたは生演奏によるオーディオ・データ
2) 映像作品：オリジナル映像にDTMまたは生演奏による音楽を付与した作品の総合データ

音楽の編成形態：歌ものでもインストゥルメンタルでも可

映像の編成形態：実写でもCGでもその組み合わせでも可

作品再生時間規定：音楽作品と映像作品ともに30秒以上5分以内を厳守すること。

参加料：音楽作品＝1作品毎に5,000円

映像作品＝1作品毎に10,000円

※一人（組）について何作品の応募も可能。（但し、参加料は1作品毎に設定）

※映像作品の応募については、映像と音楽を分担して制作したユニットでの応募も可能。

応募期間：2013年05月10日～2013年06月10日

応募方法：ホームページからによるオンライン応募

一次選考：2013年06月15日（予定）／一次選考結果発表：2013. 6. 16（予定）

ファイナル：2013年06月20日

ファイナル結果発表：2013年07月03日 第2回クリエイターEXPO会場にて発表

※クリエイターEXPO終了後にホームページにて一定期間鑑賞可能とする

エキシビジョン：2013年07月03日 第2回クリエイターEXPO会場にて実施

グランプリ（第1位）／賞金=300,000円

準グランプリ（2作品）／賞金=100,000円

入選（ファイナル進出作品）／賞状

共催（協力）

リード エグジビション ジャパン株式会社（交渉中）

後援（予定）

一般社団法人日本作編曲家協会、社団法人日本作曲家協議会、日本現代音楽協会、一般社団法人日本音楽著作権協会、日本音楽作家団体協議会、クリプトン・フューチャー・メディア株式会社、新聞社、放送局 等

協賛

インターネット関連企業、DAWソフトウェア関連企業、音楽制作関連企業、電子楽器関連企業 他

特別協力

インターネット通信関連企業（予定）

※上記No. 7は、後日、変更認定申請を行う予定であり、認定がなされた場合、事業No. 7が行われるものとする。

公3事業：音楽に関する鑑賞機会を提供する事業

NO. 8 「全日本市民バンドフェスティバル事業」

全国の音楽バンドの発展と地域における市民音楽バンド活動の一環として、地方音楽文化の普及と啓発に貢献することを目的とし、ここに「全日本市民バンドフェスティバル」を開催し、演奏会・交流会を行う。

「第6回全日本市民バンドフェスティバル」

内 容／音楽のジャンルは問わない。小編成から、大編成40名位まで。演奏曲目は自由とし、演奏時間は20分とする（入退場含む）

バンドの形態としては、小学生バンド、中学校吹奏楽部、高校吹奏楽部、一般

バンド、ママさんバンド、シニアバンド、障害者と健常者のバンド、ジャズバンドなど。

日 時／2013年12月08日（日）13:00～18:00

会 場／尚美ミュージックカレッジ専門学校（バリオホール）

協 賛／ヤマハ株式会社、ブレーン株式会社、株式会社フォトライフ（予定）

NO. 9 「国際音楽ソフトウェア流通協議会」

（略称：イムスタInternational Music Software Trade Association）

違法コピーは蔓延しています。2008年のIMSTA委員会の設立から市場や消費者にメッセージを届け、継続的な教育啓蒙活動が主たる活動となります。

①イベントプロモーションをおこなう。

店頭などで、リーフレットの配布などのプロモーションを行う。（特に土、日）店頭用ポスターなど、各メーカー製品デモンストレーション時に、カタログと一緒にリーフレットの配布。

②委員活動。

継続してソフトウェア開発会社及びソフトウェア輸入代理店、小売店等への参加を呼びかけ。

③広報活動。

媒体各社への無償告知の要請、無償パブリシティの協力要請、ミュージシャンへの取材およびWEBへの掲載。<http://www.imsta.org/japan/index.php>

④その他

ヤフーオークション他へのIMSTA委員会としての団体参加、音楽ソフトウェアの私学助成金対象への啓蒙運動。

⑤Facebookでの普及啓蒙活動の実施 <https://www.facebook.com/IMSTAJapan>

啓蒙活動予定：

- ・IMSTA FESTAカタログ配布
- ・告知について 基本は電子メール、WEB、Facebook用いたバイラルマーケティング（口コミ）を主体とし、有料媒体は使用しない。
- ・各種展示会へのタイアップ（楽器フェア、国際放送機器展、シンセフェスタなど）